

見てわかる 平成30年度 加賀市当初予算のあらまし

目次

はじめに

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 予算ってなに？ | ……………1 |
| 2. 平成30年度の予算額はいくら？ | ……………2 |
| 3. 平成30年度の一般会計の予算額の内訳は？ | ……………4 |
| 4. 借金残高はいくら？ | ……………8 |
| 5. 貯金残高はいくら？ | ……………9 |
| 6. 市民1人当たりではいくら？ | ……………10 |
| 7. 「家計簿」に例えると？ | ……………11 |

はじめに

加賀市では、平成24年4月から施行している「市民主役条例」の中で、市民が市政の主役となり、市政を推進していくことや、市民一人ひとりに市政に関心を持っていただくとともに、その自発的な活動をサポートすることを目指しています。

このことを踏まえ、市政についてより関心を持っていただくことを目的として、平成24年度から、市の予算や借金、貯金をグラフや家計簿などで表した「見てわかる加賀市当初予算のあらまし」を作成しています。

この冊子を通して、市の予算や事業についてご理解をいただければ幸いです。

平成30年4月

1. 予算ってなに？

◇予算とは？

加賀市に1年間（4月から翌年3月まで）に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。予算を見れば、1年間にどのような収入を見込み、何に使おうとしているかが分かります。

◇予算はどのように決まるの？

予算は次のように、市長が予算案を作り、市議会での審議・議決を経て決まります。

(加賀市の平成30年度当初予算の場合)



◇どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの種類（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

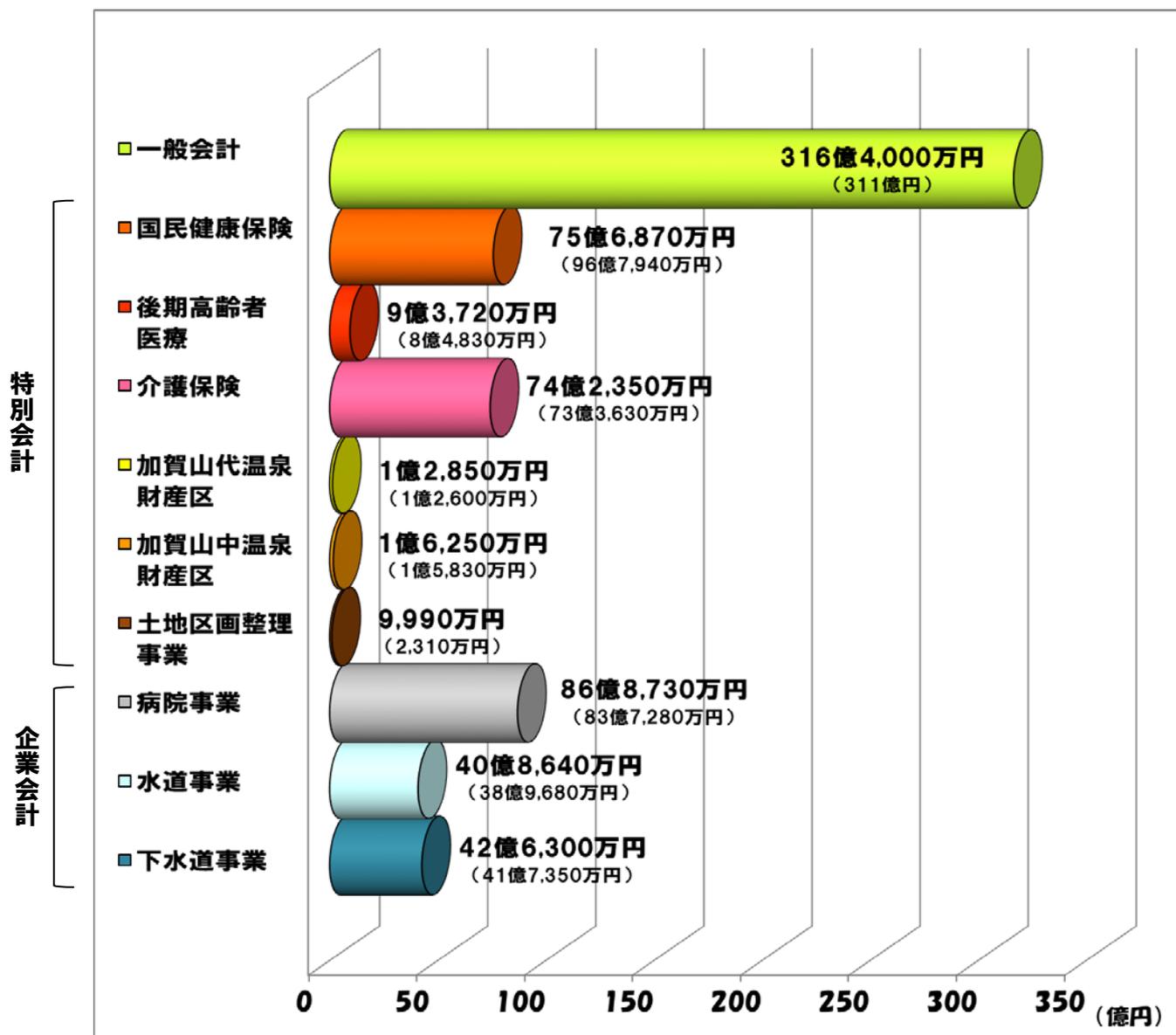
- 一般会計**・・・福祉、教育、環境衛生、道路整備など基本的な行政サービスを行う会計です。
- 特別会計**・・・保険料や使用料など特定の収入によって、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。加賀市には現在、次ページに記載した6つの特別会計があります。
- 企業会計**・・・民間企業と同じように事業収益で賄われることを基本とする会計です。加賀市には現在、病院事業、水道事業、下水道事業の3つの企業会計があります。

2. 平成 30 年度の予算額はいくら？

平成 30 年度当初予算では、「将来への備え」と「成長戦略」の 2 つの柱を基本とし、計画の 2 年目となる第 2 次加賀市総合計画の前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」を施策全体に渡る形で位置づけ、さらに、今後の 4 年間の布石を打つ意味を込めて、新たに掲げた「5 つの地域経営ビジョン」についても、積極的に盛り込みました。

○ 全会計	649 億 9,700 万円	(平成 29 年度 657 億 1,450 万円)	伸率△1.1%
○ 一般会計	316 億 4,000 万円	(平成 29 年度 311 億円)	伸率+1.7%
○ 特別会計	163 億 2,030 万円	(平成 29 年度 181 億 7,140 万円)	伸率△10.2%
○ 企業会計	170 億 3,670 万円	(平成 29 年度 164 億 4,310 万円)	伸率+3.6%

※ () 内数値は平成 29 年度当初予算額です。



◇ 平成 29 年度と比較すると予算はどう変わったの？

市の予算額は事業の開始や終了などにより、年度ごとに増減します。

平成 30 年度と平成 29 年度の予算額を比較して、一般会計と大きな変化があった会計について見ていきます。

一般会計

（仮称）橋立自然公園健康グリーンパーク整備費や小中学校施設整備費などの事業費の増加を始めとし、継続して実施する「スマート加賀 IoT 推進事業」、「小中学校におけるプログラミング教育」、「移住定住促進事業」及び「かがっこ応援プロジェクト」の実施などに積極的に取り組むこととし、5 億 4,000 万円の増加です。

国民健康保険特別会計

県が財政運営の主体となる制度改正により、共同事業分に係る負担金の計上が不要となることによる共同事業拠出金の減額や、被保険者数の減少による保険給付費の減少等により 21 億 1,070 万円の減少です。

土地区画整理事業特別会計

橋立土地区画整理事業において、保留地全部の売却（（仮称）橋立自然公園健康グリーンパーク用地として一般会計へ売却）により保留地処分金が増加すること等から、7,680 万円の増加です。

病院事業会計

医師等スタッフの増員による給与費の増加や企業債の元利償還費の増加、診療材料費の増加等により、3 億 1,450 万円の増加です。

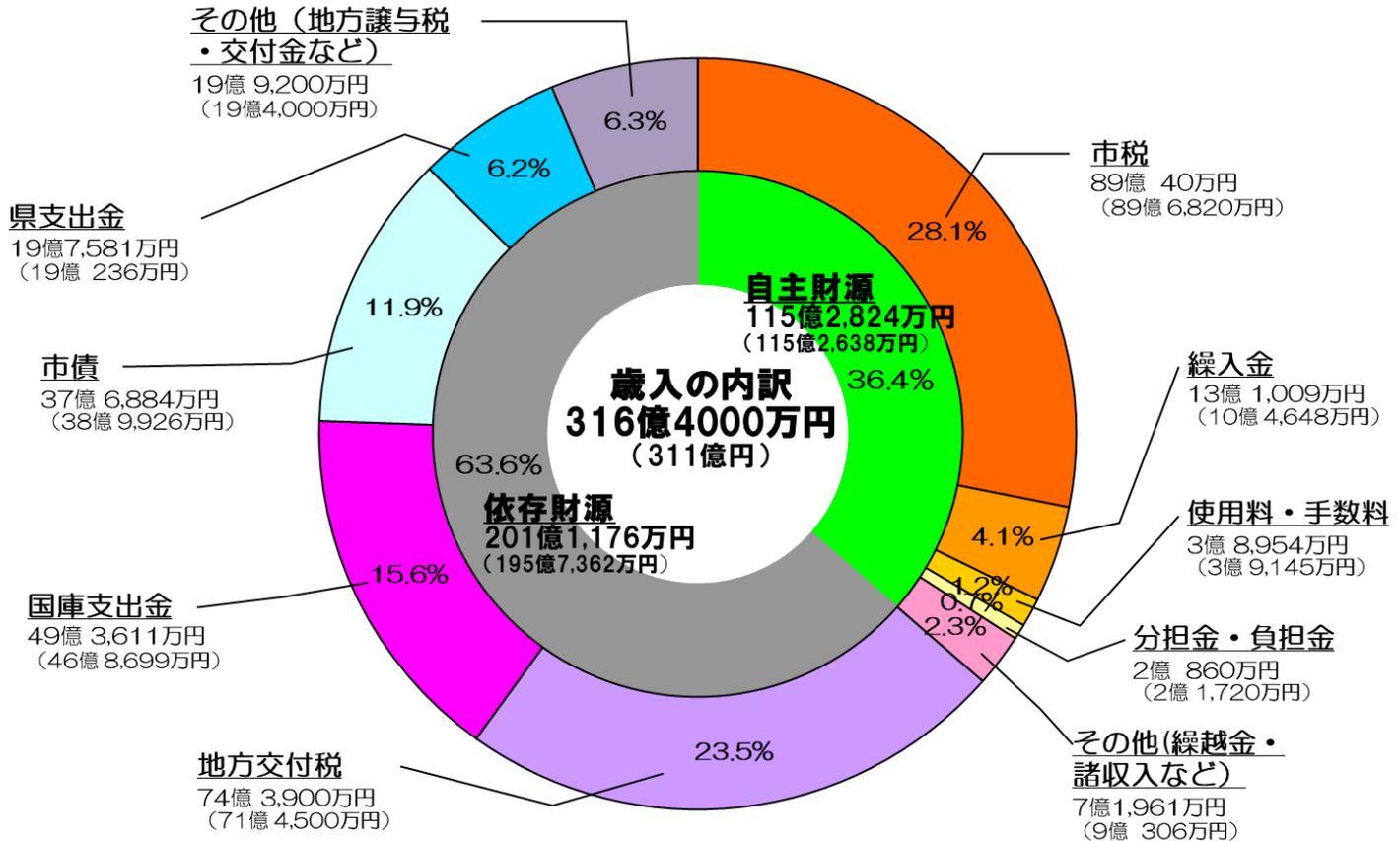
水道事業会計

老朽管等の更新にかかる費用の増加や企業債の償還費の増加等により 1 億 8,960 万円の増加です。

3. 平成 30 年度の一般会計の予算額の内訳は？

(1) 歳入

◎ 歳入を種類別に区分し、更に自主財源と依存財源に分けて見ると次のようになります。



※ () 内数値は平成 29 年度当初予算額です。

※一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

自主財源 115 億 2,824 万円 (構成比率 36.4%) (平成 29 年度比較伸率 +0.0%)

市が自主的に収入できる財源のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などです。この割合が高いほど財政が安定し、自律的な財政運営ができることとなります。

平成 29 年度と比較すると、約 190 万円の増加です。

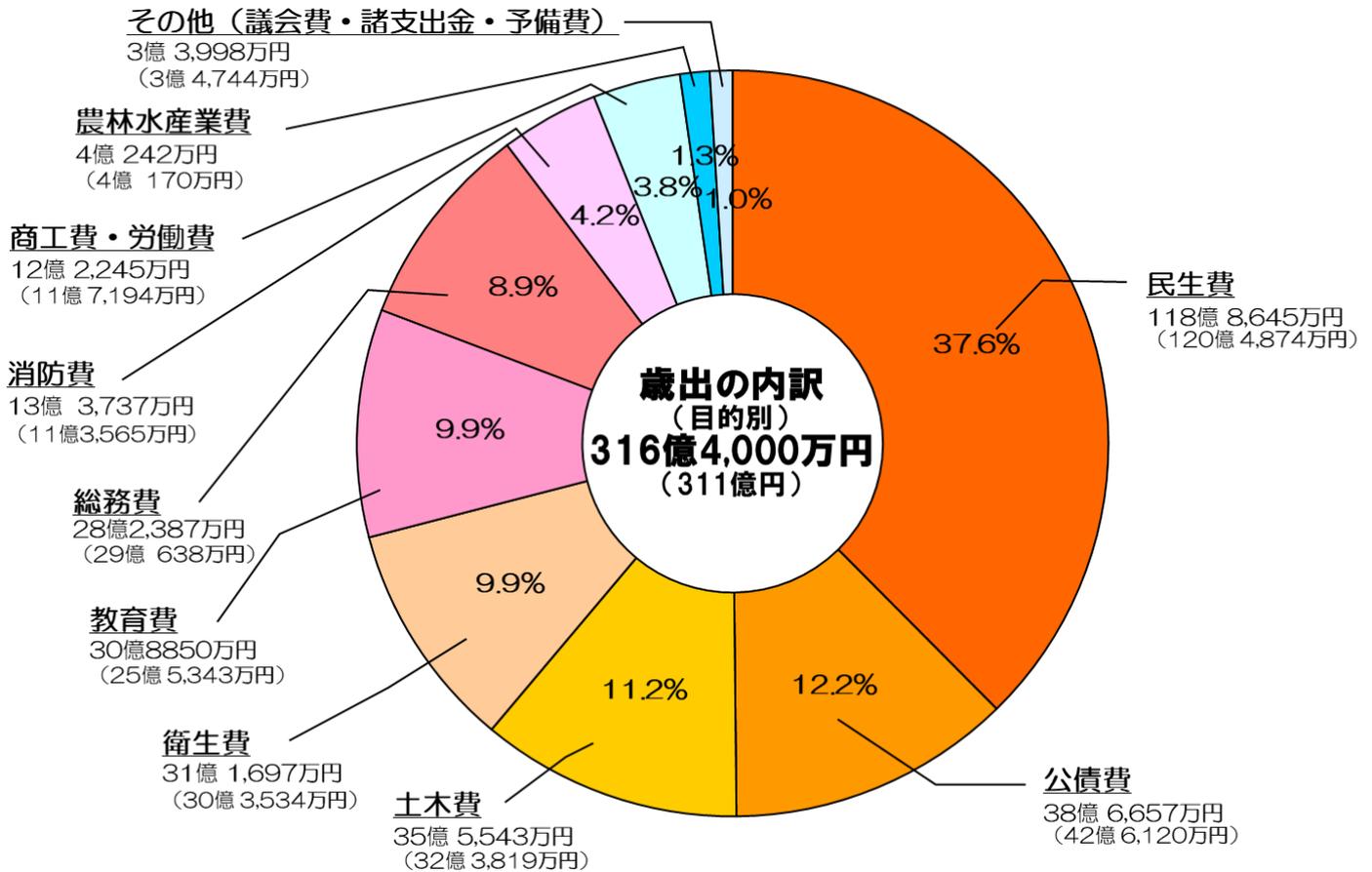
依存財源 201 億 1,176 万円 (構成比率 63.6%) (平成 29 年度比較伸率 +2.7%)

国や県等から交付される財源のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などです。

平成 29 年度と比較すると、約 5 億 4 千万円の増加です。

(2) 歳出 (目的別予算)

◎ 歳出を行政目的別に区分すると次のようになります。



※ () 内数値は平成 29 年度当初予算額です。

※一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

○ 目的別予算のうち主なもの

民生費 118 億 8,645 万円 (構成比率 37.6%) (平成 29 年度比較伸率 Δ1.3%)

民生費とは、高齢者、障がい者、児童、生活保護などの福祉に要する経費です。

平成 29 年度と比較すると、保育実施費 (法人立保育園) や障害福祉サービス費の増加等がありますが、かかご公園整備事業の完了に伴う事業費の皆減等により、全体では約 1 億 6 千万円の減少です。

公債費 38 億 6,657 万円 (構成比率 12.2%) (平成 29 年度比較伸率 Δ9.3%)

公債費とは、市の借入金の返済に要する経費です。

平成 29 年度と比較すると、平成 13、14 年借入分の地域総合整備事業債及び臨時経済対策事業債の償還の皆減、借換債の減少等により、全体では約 3 億 9 千万円の減少です。

土木費 35億5,543万円（構成比率 11.2%）（平成29年度比較伸率 +9.8%）

土木費とは都市計画の策定、道路、河川、公園の整備や維持管理などに要する経費です。

平成29年度と比較すると、こおろぎ橋架替整備費や柴山潟遊歩観光ルートプロジェクト事業費（柴山潟周辺整備事業費）の増加等により、約3億2千万円の増加です。

衛生費 31億1,697万円（構成比率 9.9%）（平成29年度比較伸率 +2.7%）

衛生費とは、健康診断や予防接種、ごみ処理、病院事業会計への繰出しなどに要する経費です。

平成29年度と比較すると、病院事業会計への繰出金や柴山潟遊歩観光ルートプロジェクト事業費（手塚山公園等再整備事業費）の増加等により、約8千万円の増加です。

教育費 30億8,850万円（構成比率 9.9%）（平成29年度比較伸率 +21.0%）

教育費とは、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興などに要する経費です。

平成29年度と比較すると、第2子児童生徒（第1子が中学生の場合）の給食費無料化や（仮称）橋立自然公園健康グリーンパーク整備費の増加等により、全体では約5億4千万円の増加です。

総務費 28億2,387万円（構成比率 8.9%）（平成29年度比較伸率 △2.8%）

総務費とは、まちづくりの推進、公共交通、電算システムの運用などに要する経費です。

平成29年度と比較すると、証明書コンビニ交付事業費、移住・定住住宅取得助成費等が増加しますが、西谷地区会館建て替え工事費の皆減等により、全体では約8千万円の減少です。

消防費 13億3,737万円（構成比率 4.2%）（平成29年度比較伸率 +17.8%）

消防費とは、消防や防災対策に要する経費です。

平成29年度と比較すると、消防車両整備費（ポンプ車・救急車等）や、片山津分署耐震改修事業費の増加等により、約2億円の増加です。

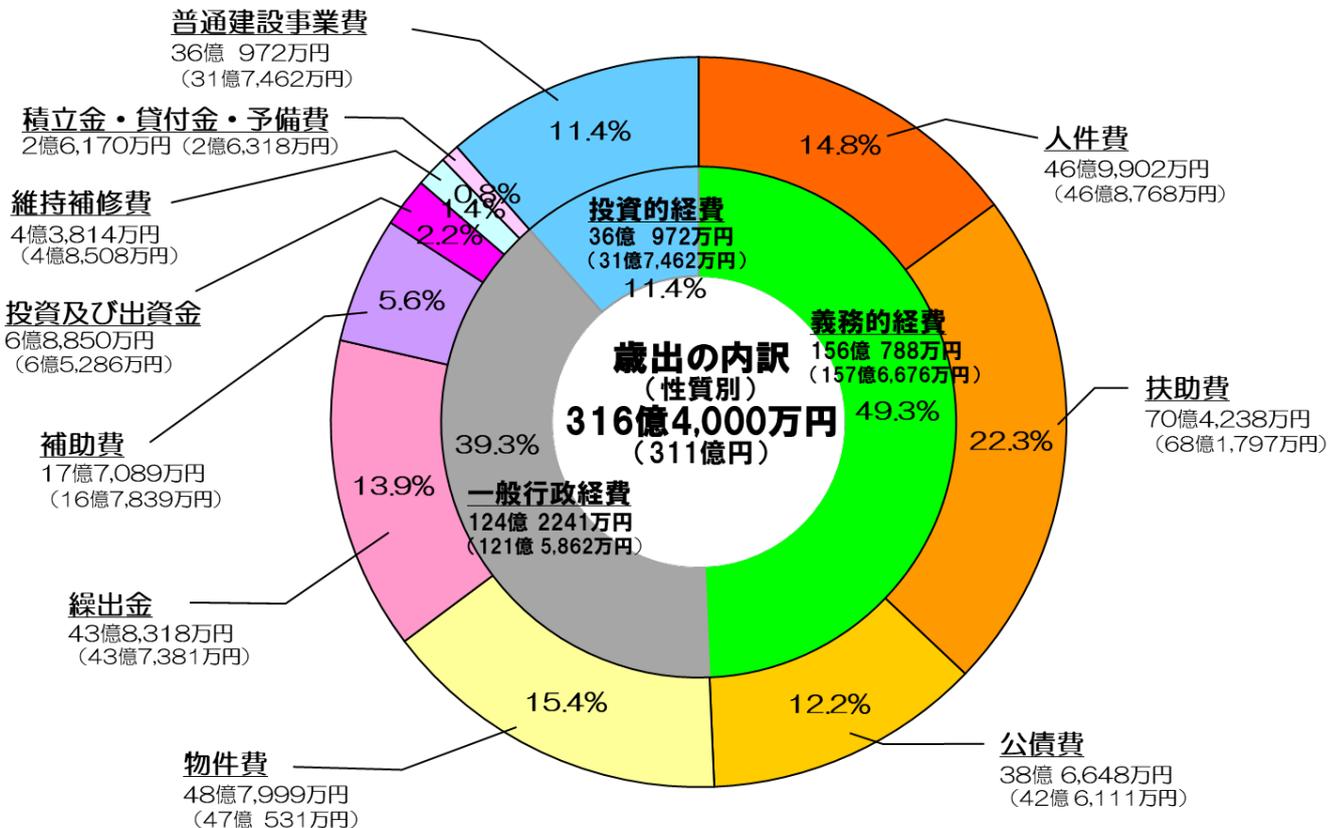
商工費・労働費 12億2,245万円（構成比率 3.8%）（平成29年度比較伸率 +4.3%）

商工費・労働費は商工業や観光振興、労働福祉に要する経費です。

平成29年度と比較すると、スマート加賀IoT推進事業費やはづちを楽堂池改修工事費の増加等により、約5千万円の増加です。

(3) 歳出 (性質別予算)

◎ 歳出を経済的な機能や性質から見た性質別経費として区分し、更に義務的経費、一般行政経費、投資的経費に分けて見ると次のようになります。



※ () 内数値は平成 29 年度当初予算額です。

※一円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

義務的経費 156 億 788 万円 (構成比率 49.3%) (平成 29 年度比較伸率 Δ1.0%)

義務的経費とは、法令の規定や経費の性質上、支出が義務づけられている経費であり、任意に削減できないものです。具体的には、児童・高齢者・生活保護者などの生活支援にかかる扶助費、市職員給与などの人件費、市の借金を返済するための公債費のことで、この割合が低いほど建設事業やほかの様々なサービスに多くお金を使えることとなります。

平成 29 年度と比較すると、全体では約 1 億 6 千万円の減少です。

一般行政経費 124 億 2,241 万円 (構成比率 39.3%) (平成 29 年度比較伸率 +2.2%)

一般行政経費とは、施設の管理費や臨時職員等の賃金などの物件費、各種団体への負担金・補助金などの補助費等、施設の維持補修費や、特別会計への繰出金等のことです。

平成 29 年度と比較すると、全体では約 2 億 6 千万円の増加です。

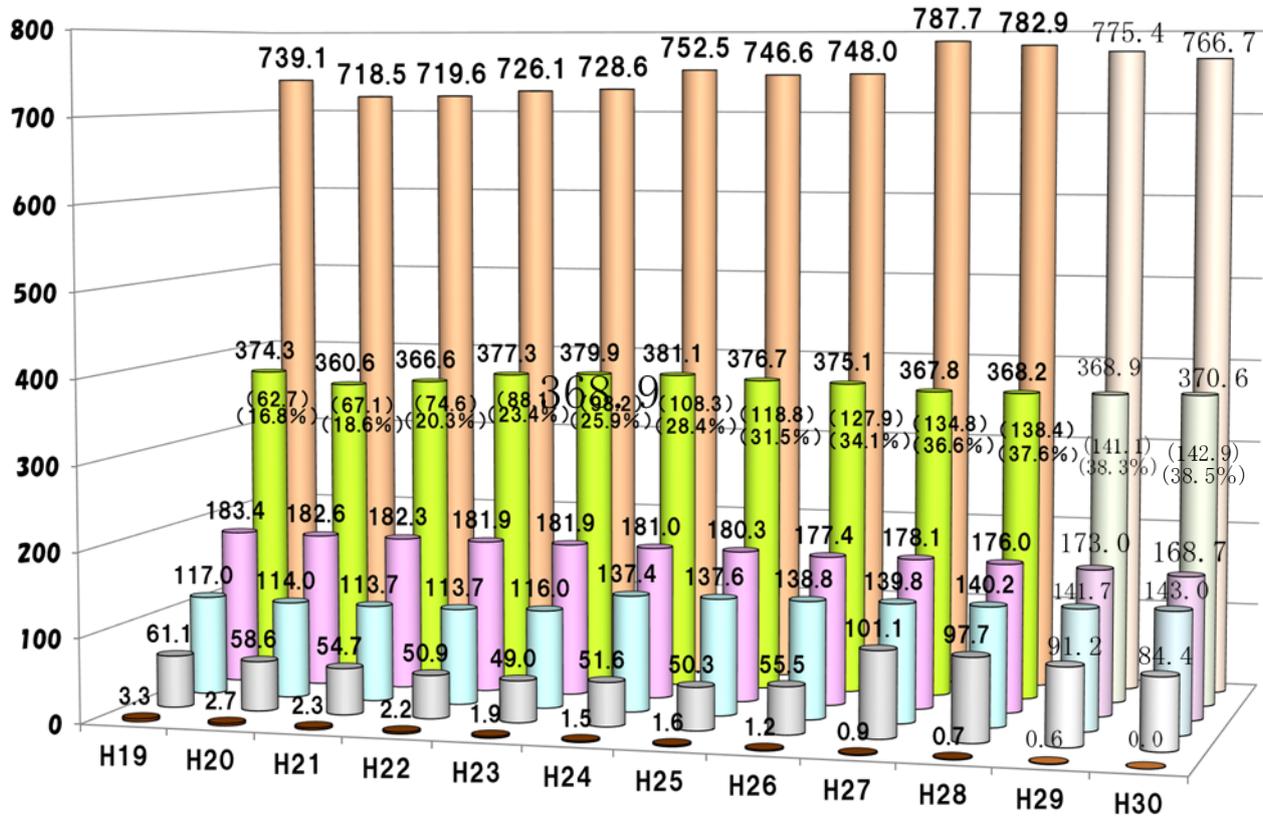
投資的経費 36 億 972 万円 (構成比率 11.4%) (平成 29 年度比較伸率 +13.7%)

投資的経費とは、その支出が社会資本形成に向けられるものです。具体的には、道路や公共施設の整備等の普通建設事業のほか、災害復旧事業に充てられる費用のことを指します。

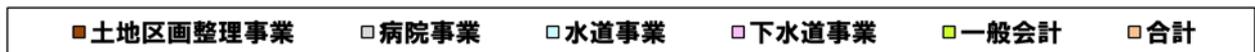
平成 29 年度と比較すると、約 4 億 4 千万円の増加です。

4. 借金残高はいくら？

(億円)



(H28までは決算、H29・H30は予算に基づく見込み)



※ () 内数値は臨時財政対策債の残高及び一般会計残高に占める割合です。

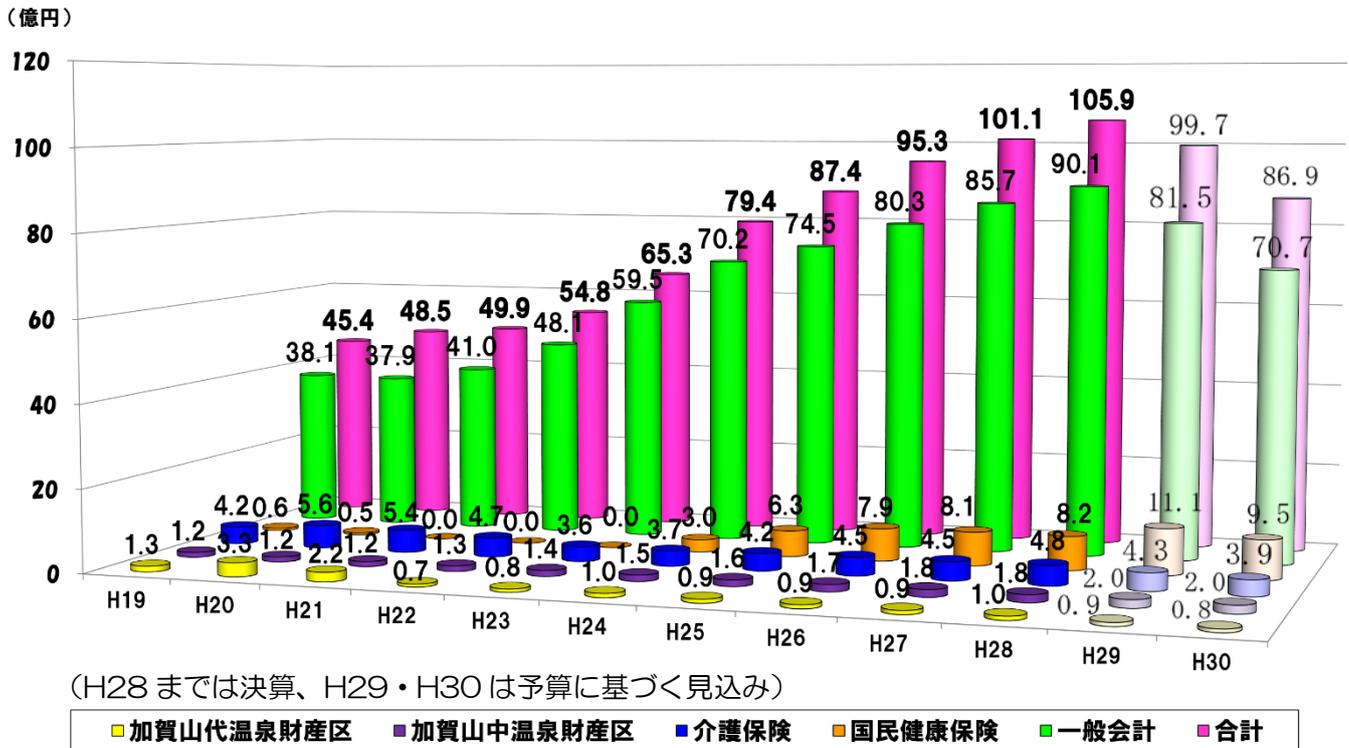
市の借金は、市債といいます。

加賀市では、一般会計、土地区画整理事業特別会計、病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の計5つの会計で市債を発行しています。

全会計を合計した市債残高は、平成17年度の合併以降、平成20年度までは減少しましたが、平成21年度以降は増加傾向にあります。増加の主な理由としては、一般会計で、国の経済対策に伴い、小中学校や環境美化センター等の耐震改修事業を行ったことや、地方交付税の代替財源であって、後年度の返済額の全額が交付税措置される臨時財政対策債を借り入れていること、また、病院事業会計で加賀市医療センターの建設を行ったことが挙げられます。

平成29年度は、病院事業会計における加賀市医療センターの医療機器借入分の償還等により市債残高は減少する見込みです。平成30年度は、病院事業会計や下水道事業会計において、償還が進むことにより市債残高は減少する見込みです。

5. 貯金残高はいくら？



市の貯金は、基金といいます。

加賀市では、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、加賀山代温泉財産区特別会計、加賀山中温泉財産区特別会計の計5つの会計で基金を積立っています。

全会計を合計した基金残高は、平成17年度の合併以降、増加傾向にあります。増加の主な理由としては、一般会計での決算剰余金（実質黒字額の1/2を下らない金額）を財政調整基金に積立ってきたことが挙げられます。

平成29年度は、地方創生推進事業へ活用するための重点事業推進基金や、合併特例期間の終了に伴う普通交付税の減少を緩和するためのまちづくり振興基金の取り崩しを行いました。また、各年度財政負担の平準化のため、減債基金、退職手当基金などの取崩しを行いました。

平成30年度は、先送りの出来ない事業の予算措置などに伴う一般会計の収支不足に対して、5億9千万円の財政調整基金の取崩しを見込むとともに、平成29年度と同様に、まちづくり振興基金、減債基金、退職手当基金などの取崩しを見込んでいます。

6. 市民1人あたりではいくら？

○一般会計の予算を市民1人あたりに換算すると、約47万円になります。

予算の使いみち	平成30年度予算		市民1人あたりの予算(※2)
民生費 <small>(高齢者、障がい者、児童、生活保護のために)</small> 	118億8,645万円	37.6%	17万4,839円 (17万5,438円)
公債費 <small>(市の借入金の返済のために)</small> 	38億6,657万円	12.2%	5万6,874円 (6万2,046円)
土木費 <small>(都市計画の策定、道路、河川、公園等の整備のために)</small> 	35億5,543万円	11.2%	5万2,297円 (4万7,150円)
衛生費 <small>(健康診断や予防接種、ごみ処理等のために)</small> 	31億1,697万円	9.9%	4万5,848円 (4万4,197円)
教育費 <small>(学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興等のために)</small> 	30億8,850万円	9.9%	4万5,429円 (3万7,180円)
総務費 <small>(まちづくりの推進、公共交通、電算システム等のために)</small> 	28億2,387万円	8.9%	4万1,537円 (4万2,319円)
消防費 <small>(消防、防災対策のために)</small> 	13億3,737万円	4.2%	1万9,672円 (1万6,536円)
商工費・労働費 <small>(商工業、観光振興、労働福祉のために)</small> 	12億2,245万円	3.8%	1万7,981円 (1万7,064円)
農林水産業費 <small>(農業、林業、水産業振興のために)</small> 	4億 242万円	1.3%	5,919円 (5,849円)
その他の行政費 <small>(議会運営や基金積立等のために)</small> 	3億3,998万円	1.0%	5,001円 (5,059円)
合計(※1)	316億4,000万円	100%	46万5,397円 (45万2,838円)

○ 市民1人あたりの借金残高、貯金残高は次のとおりです。

区分	平成30年度末残高見込み	
		市民1人あたりの残高(※2)
全会計の借金残高	766億7,347万円	112万780円
うち一般会計の借金残高	370億6,219万円	54万5,152円
うち臨時財政対策債(※3)の残高	142億8,668万円	21万145円
全会計の基金残高	86億8,558万円	12万7,757円
うち一般会計の基金残高	70億6,922万円	10万3,982円

※1 一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

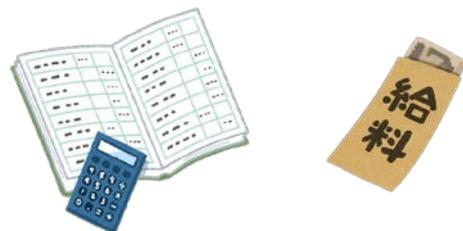
※2 平成30年度予算、平成30年度末残高を、平成30年1月1日の住民基本台帳に基づく人口(67,985人)で割って算出しています。()は平成29年度の数値です。

※3 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

7. 「家計簿」に例えると？

○ 一般会計の予算（316億4,000万円）を年収540万円（1月あたり45万円）の家計に置き換えています。

※厚生労働省実施の「平成28年国民生活基礎調査」による全国の世帯平均所得が545万8,000円であることから端数を整理して、540万円の家計に置き換えています。



【加賀家 1ヵ月の家計簿】

《 収 入 》		《 支 出 》	
給与 (市税)	12万6,586円 (12万9,765円)	食費 (人件費)	6万6,832円 (6万7,828円)
諸手当 (地方交付税、国県補助金等)	23万2,437円 (22万6,799円)	家族の医療費・教育費 (扶助費)	10万160円 (9万8,652円)
パート収入 (使用料・手数料等)	1万8,742円 (2万1,874円)	ローンの返済 (公債費)	5万4,991円 (6万1,656円)
貯金の取り崩し (繰入金)	1万8,633円 (1万5,142円)	子どもへの仕送り (繰出金、投資・出資金)	7万2,132円 (7万2,733円)
銀行からの借入 (市債)	5万3,602円 (5万6,420円)	光熱水費や通信費など (物件費、補助費等)	9万4,592円 (9万2,369円)
		家・車・電化製品の修理、買い換え (維持補修費、普通建設事業費)	5万7,571円 (5万2,954円)
		親戚へ貸すお金 (貸付金)	2,987円 (3,060円)
		貯金 (積立金、予備費)	735円 (748円)
計	45万円 (45万円)	計	45万円 (45万円)

() 内は平成29年度の数値です。

○ 一般会計予算を年収540万円の家計に置き換えた場合の平成30年度末の借金残高、貯金残高（見込み）

全会計の借金残高	1,308万5,864円	全会計の貯金残高	148万2,367円
うち一般会計の借金残高	632万5,405円	うち一般会計の貯金残高	120万6,504円
うち臨時財政対策債(※)の残高	243万8,309円		

※ 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

見てわかる
平成 30 年度
加賀市当初予算のあらまし

作成：平成 30 年 4 月

編集：加賀市総務部財政課財政係

(〒922-8622 石川県加賀市大聖寺南町二 41 番地)

TEL：0761-72-7805

E-mail：zaiseikakari@city.kaga.lg.jp

HP: <http://www.city.kaga.ishikawa.jp/>